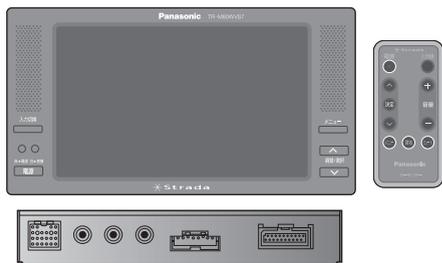


# Panasonic®

## 取扱説明書



Strada

## DC12V 車専用 車載用 ワイドVGA 液晶カラーモニター

品番 TR-M80WVS7 (8V型)

確  
認

使  
う

設  
置  
・  
接  
続

必  
要  
な  
と  
き

ご使用前に、本書の「安全上のご注意 (☞ 4 ~ 7 ページ)」を必ずお読み  
いただき、安全にお使いください。

### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

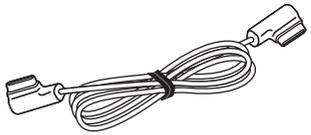
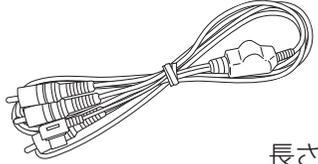
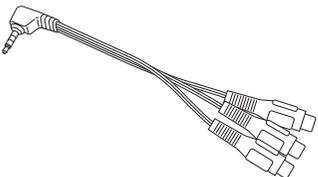
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。  
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。  
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

# 商品構成一覧表 (取り付け前にご確認ください。)

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。( )は個数です。万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店または購入先までご連絡ください。

確認

商品構成一覧表

<input type="checkbox"/> ディスプレイユニット……(1) 	<input type="checkbox"/> 電源コード……(1) 圧着式コネクタ (1) 付 
<input type="checkbox"/> ワイヤレスリモコン……(1) (リチウム電池付属) 	<input type="checkbox"/> ディスプレイユニット接続ケーブル……(1)  長さ：4 m
<input type="checkbox"/> ハイダウエイユニット……(1) 	<input type="checkbox"/> 平型 AV 出力ケーブル……(1)  長さ：1.5 m
<input type="checkbox"/> 変換ケーブル……(1) (4 極ミニ-RCA) 	

- 付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

## ■商標について

・「FOMA」は NTT ドコモの商標または登録商標です。

# もくじ

確認	
●商品構成一覧表……………	2
●安全上のご注意……………	4
●快適にお使いいただくために……………	8
●各部のなまえとはたらき……………	9
ディスプレイユニット……………	9
リモコン……………	10
ハイダウェイユニット……………	11
使う	
●モニターを使う……………	12
電源を入れる……………	12
ディスプレイユニットに映す機器を選ぶ……………	12
音量を調整する……………	13
●メニュー操作について……………	14
●2台目のモニターやカーテレビの画面を切り換える……………	18
●周囲の明るさに応じて画面の明るさを調整する……………	20
オートモード1 / オートモード2 / マニュアルモード……………	
●接続機器の表示名を設定する……………	22
●映像の横縦比を変える……………	24
ノーマル / フル / ジャスト……………	
設置・接続	
●取り付けについて……………	34
●接続例……………	38
●電源コードの接続……………	40
●パーキングブレーキ入力リードの接続……………	41
必要なとき	
●故障かな!?……………	42
●お手入れについて……………	44
●仕様……………	45
●保証とアフターサービス……………	46
●別売品のご紹介……………	裏表紙

確認

使う

設置・接続

必要なとき

## お客様ご愛用者アンケートのご案内

アンケートにお答えの方に抽選でパナソニックオリジナルグッズをプレゼント!

このたびは Panasonic の車載用 ワイド VGA 液晶カラーモニターを購入いただきありがとうございました。

今後、より良い製品を提供していくための参考にさせていただきますので、下記 URL よりご愛用者アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。アンケートにお答えいただいた方から抽選でパナソニックオリジナルグッズをプレゼントします。

※当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケート URL : <http://research.hi-ho.ne.jp/cartv/>

今後とも、本製品を末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

Panasonic カーエレクトロニクス商品のご紹介

<http://panasonic.jp/car/>

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。



**警告**

**必ず規定容量のヒューズを使用する  
また、交換は専門技術者に依頼する**



規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。

**運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない**



禁止

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因となります。

**取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない**



禁止

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

**指示に従って正しく配線・取り付けを行う**



説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

**車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける**



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因となります。



**警告**

**安全のため、必ずパーキングブレーキ入力を正しく配線する**



説明に従って正しく配線しないと、安全機能が動かなくなり、交通事故の原因となります。

**分解や改造はしない**



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

分解禁止

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

**故障や異常のまま使用しない**



煙りが出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

禁止

● 直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

**雷が鳴り出したらディスプレイユニットには触れない**



感電の原因となります。

接触禁止

**配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしておく**



バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因となります。

**大きな音量で使用しない**



車外の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因となります。

禁止

**コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す**



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因となります。

**DC12 V マイナスアース車で使用する**



DC12 V マイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車(DC24 V車)には使用できません。火災や故障の原因となります。

**運転者は走行中に操作をしない  
また、画像・表示を注視しない**



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。

**エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない**



禁止

エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

**取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する**



車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

確認

安全上のご注意

## 警告

### 電池を廃棄する場合、テープなどで絶縁する



他の金属や電池と混じると発火・破裂の原因となることがあります。

### ボタン電池やねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない



あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### リモコンを放置しない



運転中に足もとに転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて、交通事故の原因となります。

### はずした電池を乳幼児が飲み込まないようにする



窒息死することがあります。

禁止

- 飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

### 機器内部に水や異物を入れない



内部に金属類や燃えやすいものなど入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電、故障の原因となることがあります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

禁止

## 注意

### 配線・取り付け／取り外しは専門技術者に依頼する



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

- 安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

### 強い衝撃を与えない



落下させる、たたかなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因となることがあります。

禁止

### 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い所に取り付けない



雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると発煙・発火、感電、故障の原因となることがあります。

禁止

### 車載以外には使用しない



車載用以外（例えばレジャーポートやアウトドアなど）に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因となることがあります。

禁止

## 注意

### 必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

### 振動の多いところや不安定な場所に取り付けない



傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

### コードを破損しない



禁止

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因となることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

### 高温になる場所などに取り付けない



禁止

直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

### リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管する



ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因となることがあります。

### 電池は正しく使う



禁止

破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は、使用しないでください。
- 充電・分解・加熱をする、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしないでください。
- 著しく温度が高くなる場所（直射日光のあたるところ、ヒーターの近く、窓を閉めきった車や車のトランクの中など）に電池や電池の入ったリモコンを放置しないでください。



- 電池の⊕と⊖を、電池ケースの表示に合わせて入れてください。
- 使い切った電池は、すぐに交換してください。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 電池を保管するときは、テープなどで絶縁してください。

### ■電池を廃棄する場合は

絶縁状態にしてから、「所在自治体の指示」に従って破棄してください。

確認

安全上のご注意

# 快適にお使いいただくために

確認

## 液晶パネルについて

- 液晶パネル面を上にしてダッシュボードの上に放置しないでください。  
(保存温度範囲：- 20℃～+ 80℃)  
高温または低温になると液晶パネルが化学変化を起こし、故障の原因となります。
- 液晶パネル面は特殊加工されていますので、パネル面に触れた場合は指紋が付き目立ちます。  
できるだけパネル面をさわらないようにしてください。  
また、パネル面を押ししたりしないでください。
- 低温になりますと、映像が暗くなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感が出たり画質が劣化したりすることがありますが故障ではありません。  
(使用温度範囲：- 10℃～+ 50℃)
- 電源「切」時、残像が数秒残る場合がありますが、故障ではありません。

## ディスプレイユニットの設置について

- ディスプレイユニットは、カーナビゲーションのGPSアンテナから30cm以上離して設置してください。

## ハイダウェイユニットの設置について

- 次のところには、取り付けしないでください。
  - 水のかかる場所。
  - 足で踏まれる場所。
  - ヒーターのダクトなど温風の近く。
  - カーペットの下など熱がこもる場所。

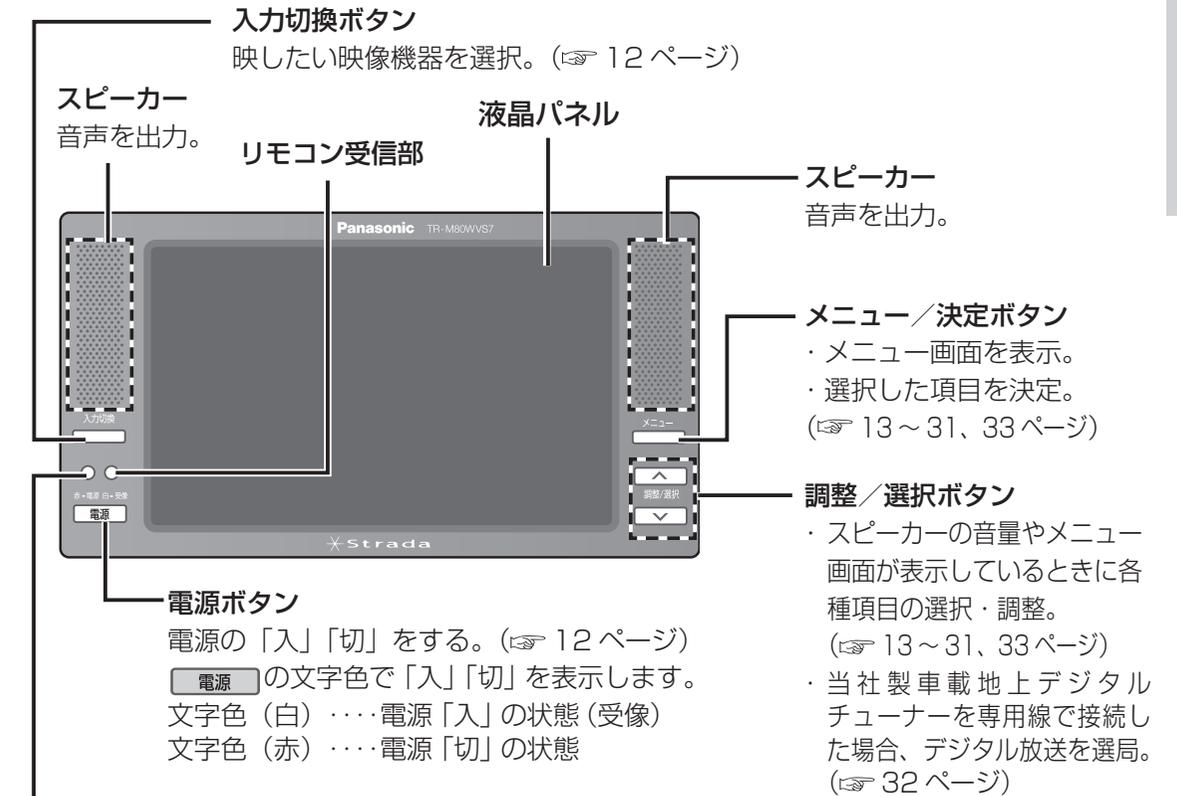
快適にお使いいただくために

# 各部のなまえとはたらき

確認

## ディスプレイユニット

### 前面



### ディマースセンサー

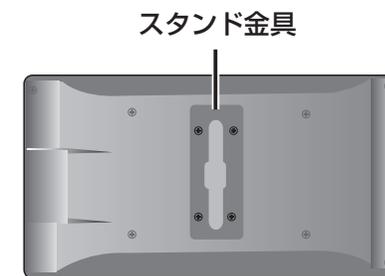
画面の明るさを自動的に調整するためのセンサー。(☞ 20 ページ)

### お願い

- 液晶パネル面を押ししたり、たたいたりしないでください。

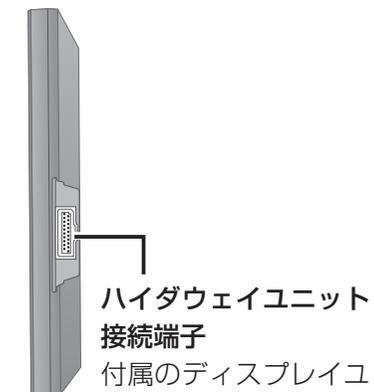
各部のなまえとはたらき

### 背面

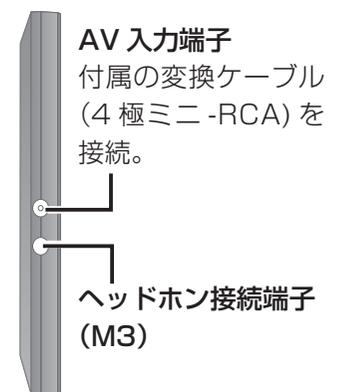


モニター取付金具の取付説明書をご覧ください。

### 右側面



### 左側面



# 各部のなまえとはたらき (つづき)

## リモコン

**電源ボタン**  
電源の「入」「切」をする。  
(☞ 12 ページ)

**調整/選択ボタン**  
・スピーカーの音量やメニュー画面が表示しているときに各種項目の選択・調整。  
(☞ 13 ~ 31、33 ページ)  
・当社製車載地上デジタルチューナーを専用線で接続した場合、デジタル放送を選局。  
(☞ 32 ページ)

**電源**

**入力切替**

**決定ボタン**  
選択した項目を決定。

**入力切替ボタン**  
映したい映像機器を選択。  
(☞ 12 ページ)

**音量調整ボタン**  
スピーカー、ヘッドホン、拡張 AV 出力端子に接続した機器、FM トランスミッターの音量を調整。  
(☞ 13 ~ 15 ページ)

**ミュートボタン**  
スピーカー、ヘッドホン、拡張 AV 出力端子に接続した機器、FM トランスミッターの音を消す。  
(☞ 27 ページ)

**戻るボタン**  
1 つ前の画面に戻す。  
(☞ 16 ~ 31 ページ)

**メニューボタン**  
メニュー画面を表示。  
(☞ 13 ~ 31、33 ページ)

## ハイダウェイユニット

**電源接続側**

**地上デジタル入力端子**  
当社製デジタルチューナーを接続。  
(☞ 38 ページ)

**電源接続端子**  
付属の電源コードを接続。  
(☞ 40 ページ)

**ディスプレイユニット接続端子**  
ディスプレイユニットを接続。  
(☞ 38 ページ)

**拡張 AV 出力端子**  
2 台目のモニターなどを接続する。  
(☞ 38 ページ)

**ビデオ入力側**

**ビデオ入力 2 端子**  
車載用カラーテレビやカーナビゲーションシステムなどの映像機器を接続する。  
(☞ 38 ページ)

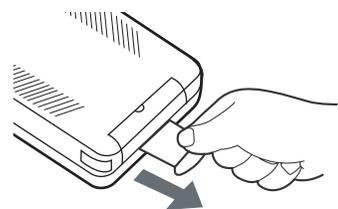
**D2 映像入力端子 / ビデオ入力 1 端子**  
DVD プレーヤーなど D1 映像出力、D2 映像出力または映像端子のある機器を接続。(D2 映像入力端子に接続する場合は、音声端子も接続してください。)  
「映像」と「D 映像」端子は「D 映像」が優先します。  
(☞ 38 ページ)

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき

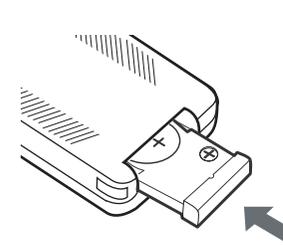
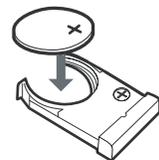
## リモコンの準備

あらかじめ電池が入っています。ご使用前に絶縁シートを引き抜いてお使いください。



## 電池交換のしかた

- 1 電池ケースを引き出す**  
電池ケースのくぼみにボールペンの先などを差し込み矢印の方向に引き出します。
- 2 電池を入れる**  
プラス側 (+) を上にして入れます。(プラス (+) とマイナス (-) を確かめて正しく入れます。)
- 3 電池ケースを差し込む**  
電池ケースを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



### お願い

- リモコンを紛失しないようご注意ください。
- 落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしないでください。(部品が壊れ、故障の原因となります。)
- リモコンに水などをかけないでください。
- リモコンをディスプレイユニットの近くで操作しても働かないときは、電池(品番: CR2025 または CR2025P)を交換してください。